



豊川市立桜木小学校 ボッチャ体験教室 フォトレポート



名古屋法務局

平成30年6月15日(金)に、豊川市立桜木小学校6年生を対象に「ボッチャ体験教室」を実施しました。

今年度、当局では、ロンドンパラリンピック競技大会にボッチャ種目日本代表として出場した加藤啓太氏を招き、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と連携協力して、ボッチャ体験教室を県内11箇所の小中学校で開催することとしました。

桜木小学校での本教室は今年度一回目となります。

ボッチャとは・・・

重度の脳性麻痺者や四肢に同程度の重度障害がある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。

最初にジャックボールと呼ばれる白いボールを投げ、続いて赤と青の各6個のボールをいかにジャックボールに近づけるかを競うスポーツです。

カーリングのように相手のボールを弾いたりして自分が優位に立てるような位置取りをしていきますが、ジャックボールを弾いて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略、魅力がある競技です。



ロンドンパラリンピックにボッチャの日本代表選手として出場した、**加藤啓太氏** が講師として来てくれました！

加藤選手は、脳性麻痺を患い、重度の障害を持っています。

加藤選手には、「1パーセントの可能性がある限り、障害があっても挑戦する」という話を、自身の失敗体験や成功体験をを基に、ユーモアいっぱい話していただきました。





デモンストレーション
です。



加藤選手にデモンストレーションを行っていただきました。
介助者とともに、パラリンピアンの実力を見せる加藤選手です。
介助者は、コートを見てはいけません。選手の指示のみでランプと呼ばれる投てき用の道具を操作し、正確にボールを位置取りします。



子どもたちによるボッチャ体験です！
みんなボッチャは初めてでしたが、楽し
そうにプレイしていました。



最後は、加藤選手と
子どもたちとの対戦
です。



加藤選手とボッチャをしたい人を聞いたところ、
たくさんの方が手を挙げてくれました。加藤選
手にはハンデが与えられ、選ばれた9人と加藤
選手で対戦をしました。
加藤選手がボールを投げるたびに、一同から
歓声が上がりました。



楽しいボッチャ体験教室はあっという間に終わり、加藤選手から、児童の子どもたちに色紙の贈呈がありました。
児童からは、感謝の言葉が伝えられました。



～名古屋法務局から～

法務省の人権擁護機関では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を一つの契機として、人種、障害の有無など違いを理解し、自然に受け入れ、互いに認め合う共生社会(ユニバーサル社会)の実現を図るべく、積極的に人権啓発活動を実施しています。

本教室もその啓発活動の一環として行いました。

豊川市立桜木小学校の皆さん、

忙しい中駆けつけてくれた加藤選手やその関係者の方々、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の方々、本当にありがとうございました。

ボッチャ体験教室を通して、障害のある人について理解が深まり、新たな発見もあったと思います。



名古屋法務局
愛知県
豊川市
愛知県人権擁護委員連合会
豊橋人権擁護委員協議会